

設立趣旨書

1 趣旨

LGBT（*）は人口の約5%存在するとされ、近年ではマスメディア等でも取り上げられることが増え、沖縄県内でも那覇市・浦添市がともに性の多様性支援宣言をし、那覇市は同性パートナーシップ制度を導入するなど、その権利が少しずつ認められるようになってきた。（*ここではLGBTは広く性的少数者の総称として用いている。）

その一方で、社会の偏見や差別もあり、不安や心配を抱え生きる当事者も多い。当事者の49.7%が自殺をしたいと思ったことがあり、18.9%が自殺未遂を経験しているという調査結果が示すように、命に係わる深刻な状況である。子どもたちに関して言えば、ある調査では小・中・高校の学校生活でのいじめ被害の経験を聞いたところ、58.2%がいじめ被害の経験があると答え、LGBTの高校生の3割が自傷行為の経験があるという深刻なデータもある。

このような現状のもと、社会、特に児童生徒、教職員、そして保護者へLGBT・性の多様性の知識を伝え、自分らしさを大切にできる自己肯定感や、自分と異なる他者を大切にす多様性の尊重の心を育むことを目的に、レインボーハートokinawa（設立当初から本法人設立までの団体名は「レインボーハートプロジェクトokinawa」）は設立された。県内に住む男性同性愛者が代表・講師を務め、小中高校の教員が推進メンバーとなり、沖縄県内の児童生徒や教職員対象を中心として、LGBT・性の多様性講演会を2016年10月から行ってきた。2020年9月時点で、全国の小・中・高校、特別支援学校延べ208校で講演、56回の教職員研修、さらに自治体主催講演会、PTA対象講演会、一般対象自主講演会も多数実施し、新聞テレビでも多数取り上げられている。2019年度は合計約130回の講演会を行い、講演会の需要は高まってきている。

その一方で、学校講演会や行政主催講演会の謝金は限定的で講師の生活を成り立たせることも困難なため、自主的に資金造成活動も行うと共に、離島講演会等での旅費・宿泊費については地元航空会社等の支援を頂きつつ啓発活動を継続している。現在は、講師1名で講演会申込受付、調整、連絡等全てを担当しており、このままの体制で活動を継続することは困難であり、総務担当者を配置して事務局を安定させ、資金面の安定も図りながら啓発活動を続けることが大きな課題となっている。

このような状況のもと、今後も継続的にLGBT・性の多様性啓発活動を行っていくために、組織体制を充実させ、より社会的信頼のある団体とすることで、企業からの協賛、各種団体からの助成金や行政との協働等を図りながら財政基盤も安定させていくことを目的として、今般特定非営利活動法人を設立することとした。

2 申請に至るまでの経過

平成31年2月26日	法人設立のための勉強会・設立準備会開催
令和元年8月24日	第1回設立総会開催
令和2年10月24日	第2回設立総会開催

令和2年10月24日

特定非営利活動法人レインボーハートokinawa

設立代表者 住所又は居所

沖縄県島尻郡八重瀬町字後原282番地1

コーポマルキン10 301号

氏名 竹内 清文 印